

## 若者の投票率 向上策を提案

熊本高専3年生  
合志市議と懇談

合志市議会と熊本高専の3年生による「どうしたら選挙に行きたくなるか」と題した懇談会が24日、同市の同高専熊本キャンパスであり、低迷する投票率

のアップに向けた方策などについて意見を交わした。

18歳になり、選挙権を得る3年生を対象に、議会や選挙に興味を持ってもらおうと市議会が初めて企画。全議員19人と3年生約130人が参加した。学生が13、15人ずつ9班に分かれ、各班に

議員2人が加わった。ワークショップ形式で討論し、その結果を班ごとに発表。各候補者の公約が一目で分かるウェブサイト構築や、インターネットやコンビニでも投票できる仕組みづくりのほか、特典付き投票券の

導入などユニークな提案もあった。

池上耀星さん(18)は「若者は選挙の目的をあまり理解していないと思う。学校の授業で議員の役割なども教えてほしい」と要望した。

(木村恭土)



投票率アップの方策などについて、熊本高専熊本キャンパスの学生と合志市議が意見を交わした懇談会＝合志市